

学校番号	307
------	-----

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 古典探究 (数研出版)						
副教材等	・新精選古典文法・準拠ノート(東京書籍) ・重要古文単語315(桐原書店) ・日本文学史ノート(京都書房)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについては、テキストを使って予習・復習をし、しっかりと身に付けてください。 ・作品の成立した背景や文化について調べ、理解を深めましょう。 ・意味のわからない語句は自ら調べて、語彙量を増やし語感を磨きましょう。 ・古文単語の小テストを定期的に行います。

2 学習の到達目標

(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考えた方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考えた方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	説話の編者の意図を考える。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 書き手の考えや目的、意図を捉えている。 c: 書き手の考えや目的、意図を捉えて自分の考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 説話「大江山」(十訓抄)「兼盛と忠見」(沙石集)				
	歌によって表現されているものを読む。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや歌の修辞について理解を深めている。 b[読]: 作品の成立した時代の背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深めている。 c: 歌の解釈とともに登場人物の様子や心情をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 歌物語「初冠」「渚の院」(伊勢物語)				
	漢文を訓読する。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 故事「買履忘度」「漱石枕流」「画竜点睛」「江南橋為江北枳」				
二学期	作者の心情を読む。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 積極的に作者の心情をとらえ、自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 日記文学(一)「東路の道の果て」「物語」(更級日記)				
	登場人物の心情と人物像をとらえる。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c: 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 物語「光源氏誕生」「藤壺の入内」「小柴垣のもと」(源氏物語)				
	「方丈記」の価値について考察する。	a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]: 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 随筆(二)「ゆく河の流れ」「養和の飢饉」(方丈記)				

※令和4年度以降入学生用

		c:進んで作品内容を解釈し、作品の価値について考察しようとしている。			
	登場人物の心情と人物像をとらえる。	a:古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 歴史物語「花山天皇の出家」 「南院の鏡射」(大鏡)	c:登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、自分の考えをまとめようとしている。			
三 学 期	漢詩を鑑賞する。	a:古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 漢詩「中国の詩」「日本の詩」	b[読]:文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c:漢詩の解釈を深め、漢詩の創作に粘り強く取り組もうとしている。			
	歌・俳句を鑑賞する。	a:古典の作品に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート ワークシート 評価シート ノート
	[教材] 和歌・歌謡・俳諧	b[読]:古典の作品について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 c:歌・俳句の解釈を深め、鑑賞文の作成に取り組もうとしている。			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … () 時間
- ・書くこと … () 時間
- ・読むこと … (100) 時間